別表(第2条関係)

就学指定校変更許可基準

事由	内容	対象学年	許可期間	添付書類等
1 身体的事由による場合	身体的理由により、指定された学校への通学が困難又は不都合と認められるとき。	小中学校の全学年	最長卒業まで。	・医師の診断書 ・学校長の副申書 ・印鑑
2 家庭的事由による場合	保護者が就労等の事由により、放課後等における児童の保護監督が著しく困難な状況で、別居の親族が保護監督を行う場合又は保護者の勤務先等において保護受託する場合であって、当該親族の住所又は勤務先等の所在地を通学区域とする小学校へ通学を希望するとき。	小学校の全学年	1年間(更新可能)。	・両親の勤務証明書 ・預け先の承諾書 ・学校長の副申書 ・印鑑
3 市内転居による場合	(1) 転居後も現に通学している学校に引き続き通学を希望するとき。	小中学校の全学年	最長卒業まで。	・学校長の副申書 ・印鑑
	(2) 住宅の建替え等により、一時的に他の学区に転居するが、1年以内に元の住所地に帰ることが確実なため、元の住所地の学校に引き続き通学を希望するとき。		最長1年を限度とし、当該事由解消まで。	・工事契約書、売買契約書、賃貸契約書など転居の予定が確認できるもの ・学校長の副申書 ・印鑑
	(3) 1年以内に、転居することが確実なため、あらかじめ転居予定地を通学区域とする学校に通学を希望するとき。		最長1年を限度とし、転居の日まで。	・工事契約書、売買契約書、賃貸契約書など転居の予定が確認できるもの ・学校長の副申書 ・印鑑
4 地域的事由による場合	自宅から指定校までの距離が、最短距離にある隣接校のおおむね2倍以上ある場合で、最短距離の隣接校へ通学を希望するとき。	小学校の全学年。ただし、入学又は学区外からの転居時に限る。	最長卒業まで。	・学校長の副申書 ・印鑑
5 部活動の有無による場合	指定校に希望する部活動がなく、当該部活動がある隣接の中学校に入部を希望する場合。ただし、希望する部活動が隣接校にない場合又は2	中学校の全学年。ただし、入学又	最長卒業まで。	・学校長の副申書 ・印鑑

	校以上ある場合は、自宅からの通学距離が最短の中学校とする。	は市外からの転入時に限る。		
6 教育的配慮による場合	(1) いじめ、不登校等学校生活に起因し、在籍校又は指定校に通学することが困難な状況であり、転校することが教育指導上必要であると認められるとき。	小中学校の全学年	最長卒業まで。	・学校長の副申書又は教育相談機関の意見書等 ・印鑑
	(2) 兄又は姉が指定校を変更し、通学している学校への入学を希望するとき。	小中学校の全学年	最長卒業まで。	・学校長の副申書 ・印鑑
	(3) 指定校を変更する特別な理由があると教育委員会が認めたとき。	小中学校の全学年	必要と認められる期間	・学校長の副申書 ・印鑑

注 学校長の副申書とは、在学校の学校長の副申書。ただし、小学校新1年生の場合は、在籍する保育所(園)長又は幼稚園長の意見書